水戸教育事務所だより

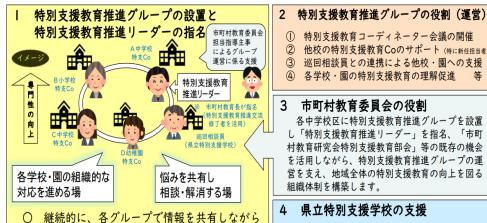
すべての子どもたちのために 学校のために 市町村教育委員会のために

第 9 号 2024年9月4日

点 課 題

特別支援教育の充実(就学から就労に向けた長期的支援)

特別支援教育推進体制充実事業のスタート!



○ 定期的に、「特別支援教育コーディネーター

各学校・園の特別支援教育を推進

会議」を開催

- ③ 巡回相談員との連携による他校・園への支援
- ④ 各学校・園の特別支援教育の理解促進

① 特別支援教育コーディネーター会議の開催

他校の特別支援教育Coのサポート (特に新任担当者)

3 市町村教育委員会の役割

各中学校区に特別支援教育推進グループを設置 し「特別支援教育推進リーダー」を指名、「市町 村教育研究会特別支援教育部会」等の既存の機会 を活用しながら、特別支援教育推進グループの運 営を支え、地域全体の特別支援教育の向上を図る 組織体制を構築します。

県立特別支援学校の支援

県立特別支援学校の巡回相談員を各中学校区の 特別支援教育グループの構成員とします。巡回相 談員の特別支援教育に関する専門性をグループや 学校の専門性の向上や組織体制の整備などに活用

本事業は、市町村の中学 校区を単位として、市町村 立学校・幼稚園、県立特別 支援学校の特別支援教育 コーディネーターを構成 員とする特別支援教育推 進グループを設置し、学校 間の連携・協働体制を構築 することで、地域全体の特 別支援教育の向上を図る ことを目的に進めていま す。今年度は、県内13市 町60グループでスター トいたしました。令和7年 度からは全市町村で実施 予定となっています。

【特別支援教育推進グループの編成について】

- ・8名程度を目安として、全中学校区を対象に、中学校区単位を基準に1グループを編成する。ただし、 各市町村の学校の設置状況により、複数の中学校区による合同グループを設置するなど、各地域の実情 に合わせて編成する。
- ・グループは、中学校区内の公立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、県立特別支援学校の特別支援 教育コーディネーターで編成する。

水戸教育事務所管内では、今年度は常陸大宮市、那珂市、茨城町、大洗町の4つの市町 で実施しております。推進リーダーを中心にコーディネーター会議を実施しているところです。「担当者 が集まれる場があってよい|「特別支援学校の先生からの助言がいただけてありがたい」といった参加者 の声がありました。また、Google クラスルームを活用して情報共有をするなど、会議の内容を広める取 組も進んでいます。まだ始まったばかりのため、会議の連絡調整が難しかったり、会議の議題について 検討したりする等の課題が見られました。今後地域ごとに会議を進めていきながら、特別支援教育の支 援体制のさらなる充実が図れるよう期待しています。

東海村では、坂田社会教育主事が中心と なり、他課とも連携した143のプログラ ムからなる「東海村エンジョイ・サマース クール」を開講しました。

今回は、小学5・6年生を対象とした「プログラミン グでモノを動かしてみよう!(マイクロビット講座)|を 視察しました。この講座では、茨城高専名誉教授でもあ る柴田裕一先生を中心とした常陸 STEM 教育研究推進 会のメンバー5名が講師となり、プログラミングの基礎 を学びました。その他にも、自然体験や環境教育、地域 の特色を生かしたサイエンス分野等々の講座があり、子 どもたちは興味関心のある講座を選び、積極的に受講し ました。夏休みならではの体験講座は、子どもたち一人 一人の可能性を引き出すことに大きく貢献しました。

~体験の風が吹いた~

プログラミングでものを動かしてみよう!









かんたん陶芸教室